

港区スポーツ推進計画（素案）に寄せられた区民意見について

1 区民意見募集（パブリックコメント）

（1）募集期間 令和5年11月25日（土）から12月25日（月）まで

（2）人数・件数

	人数	件数
郵便	0人	0件
インターネット	6人	8件
FAX	0人	0件
持参	1人	1件
合計	7人	9件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 区民説明会での参加者意見

区民説明会は、教育分野の5計画合同で2日間実施しました。

（1）開催概要 令和5年12月8日（金）午後6時から 生涯学習センター
12月10日（日）午前10時から 港区役所

（2）参加者数・件数

	人数	件数
12月8日（金）	0人	0件
12月10日（日）	1人	2件
合計	1人	2件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

<参考>

港区スポーツ推進計画（素案）説明動画視聴回数 116回

港区スポーツ推進計画（素案）に寄せられた区民意見

No	区民意見	区分
1	幼児で参加できるプール教室が増えたら嬉しい。田町のスポーツセンターは距離はもちろん、抽選なので参加できる人が限られている。区内には民間の教室もあまりなく、さらに待機児童が多く入会ができない。近くの高松中学校で小学生以上向けのクラスが夏季と冬季に開催されているが、幼児では通える先がない。個別にインストラクターを雇ってプール施設を使用するのは規定で禁止されているとなると施設自体がなく、自分で民間サービスを見つけても子どもを水泳教室に通わせられないので、拡充されたら嬉しい。	インターネット
2	eスポーツ事業について、いくつかの観点で高い成果を期待する。一つは、VRなども含めたeスポーツコンテンツの進化が、デジタル上で誰でも手軽に楽しめる「スポーツのバリアフリー」を加速していくだろうという点。また一つは、先端技術施設の箱があっても、地元の方々にとっては利用のハードル高く、だから行政が丁寧に接続することで地域と結びつくことができるという点。特に港区には先端技術施設が多々あり、それらが地域に受け入れられることは非常に大きな価値。最後に、コンテンツなどを若者が企画・サポートすることで高齢者との世代間交流が生まれ、高齢者の社会的孤立の予防だけでなく若者への教育効果も高いという点。高齢者に楽しさを臨場感をもって伝えられたり、若者も高齢者の優しさや知識に触れ、一つの目的に向かってお互いに尊重し合いながら推進できる。	インターネット
3	パラスポーツの普及に繋がるイベントを定期的で開催してほしい。 パラスポーツイベントの集客に繋がるよう、広報媒体としてキスポーツ誌をもっと活用してほしい。	インターネット
4	数値目標と基本目標や施策の関係がよくわからない。 数値目標としてあげた3つのそれぞれを達成するため、どの施策を展開しているのか明記すべき。	インターネット
5	みるの中にテレビやインターネットでの視聴を含むのはおかしい。試合観戦が平時に戻っている中でスポーツの生の醍醐味を味わう人を増やすことを狙うべき。 パブリックビューイングはスポーツ自体の魅力というよりは会場の一体感を楽しむものなので、これも生観戦とは分けるべき。	インターネット
6	33ページの数値目標の「みる」について、会場観戦とテレビやネット観戦を同列に扱うのはおかしい。生で見るスポーツの迫力を体感してもらうのが、この「みる」が目指すものだと思う。テレビやネットでみるのとは全く異質の体験だと思う。	インターネット
7	各競技種目による区民大会が土日祝日に多く開催され、個人・団体利用の枠が殆ど無い。実際の各大会の参加者は港区在住や在勤でない人も多い。	インターネット
8	80ページからの進行管理や評価方法は全く客観性を担保していない。PDCAによる評価を行うのであれば年度ごと、施策ごとに目標を数値で示し毎年度達成状況を評価しなければ回していることにはならない。 81ページの評価方法も内部の評価に留まっていて客観性が全くない。外部委員による評価や区民による評価が必要である。	インターネット
9	eスポーツをやってみたい。民間の施設には行きづらいので、港区の施設でバレーやバスケットのようにできる場所を作ってほしい。それから、教室や講座もあるとうれしい。	持参
10	MINATOシティハーフマラソンを区で行う目的、意義は何か。	区民説明会
11	MINATOシティハーフマラソンの開催時期は決まっているのか。	区民説明会